



# 五月(大) 阜月

## 斗宿

五月五日立夏の節より  
月命己巳二黒土星の月  
暗剣殺西南方

旧三月小  
四月小

日	曜日	干支	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	水	きのと	○下弦二〇時二七分、メーデー、 八十八夜、高岡御車山祭、 三月小	廿三	先勝	おさん	十	十	4.49	0.40	18.28	16.24
2日	木	ひのえ	奈良東大寺聖武祭、下関海峽祭(4日迄)、 飛騨水無神社例祭	廿四	友引	ひらく	角	くゑ日	4.48	1.20	18.29	18.05
3日	金	ひのと	○憲法記念日、熱海身代り不動尊五臓病除、一粒万倍日、 京都伏見稲荷遷幸祭、博多どんたく(4日迄)、不成就日	廿五	先負	とづ	亢	くゑ日	4.47	1.54	18.29	19.26
4日	土	つちのえ	○みどりの日、豊川稲荷春季大祭、 七尾青柏祭	廿六	佛滅	たつ	氏	五七日	4.46	2.24	18.30	20.26
5日	日	つちのと	○こどもの日、立夏九時一〇分、端午、己巳、 児童福祉週間、府中くらやみ祭、神奈川国府祭	廿七	大安	たつ	房	●	4.45	2.53	18.31	21.16
6日	月	かのを	振替休日、大つち	廿八	赤口	のぞく	心	月とく	4.44	3.21	18.32	22.00
7日	火	かのを		廿九	先勝	みつ	尾	大みやう	4.43	3.51	18.33	22.40
8日	水	みづのえ	●朔二二時二二分、世界赤十字デー 旧四月小	朔	佛滅	たいら	箕	神よし	4.42	4.24	18.34	23.18
9日	木	みづのえ	愛鳥週間、笠間稲荷御田植祭	二	大安	さだん	斗	十	4.41	5.03	18.34	23.54
10日	金	きのえ	日光東照宮春季例大祭、 伊豆下田黒船祭(19日迄)	三	赤口	とる	牛	十	4.40	5.48	18.35	12.16
11日	土	きのと	大垣祭、長良川鶴飼開き、三隣亡、 不成就日	四	先勝	やぶる	女	月とく	4.39	6.42	18.36	12.55
12日	日	ひのえ	母の日、看護の日、東京下谷神社祭、 京都松尾大社遷幸祭	五	友引	あやぶ	虚	ぶく日	4.38	7.41	18.37	13.37
13日	月	ひのと		六	先負	なる	危	大みやう	4.38	8.44	18.38	14.22
14日	火	つちのえ	出雲大社例祭、小つち	七	佛滅	おさん	室	母倉	4.37	9.47	18.38	15.15

五月は「阜月」、さつき、つづしが縁乱の季節である。新緑の季節とも薫風の季節ともいい、快通な月とあってよい。この月のうち、からりと晴れた日を「さつき晴れ」といい、爽快の代名詞として使われている。立春から数えて八十八日目ごろは茶摘みどきである。「八十八夜の別れ霜の言葉」どおり、この日から後に霜の降りることはめつたになく、霜害の心配はなくなる。珍重される新茶は、この期に霜の降りなかつた新芽茶のことである。

「冠」五月五日の祝日は、「こどもの日」、端午の節句である。三月三日の女子の節句に対し、この日は男子の節句といわれ、桃の節句の雛飾りに匹敵するものとして、屋外に鯉のぼり、屋内では武者人形や鎧兜(よろいかぶと)を飾る。供える菓子は柏餅(かしわもち)やちまきで、ともに戦国時代の携帯食糧の伝統と考えられる。

日	曜日	干支	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	水	つちのと	○上弦二〇時四八分、旧灌仏会、一粒万倍日、 沖繩本土復帰記念日、京都葵祭	八	大安	ひらく	壁	百事よし	4.36	0.26	18.39	16.20
16日	木	かのを	一粒万倍日	九	赤口	とづ	奎	天おん	4.35	0.55	18.40	17.37
17日	金	かのと	日光東照宮春季例大祭、 伊豆下田黒船祭(19日迄)	十	先勝	たつ	婁	●	4.34	1.48	18.41	18.49
18日	土	みづのえ	国際親善デー、奈良興福寺新御能、 大津三井寺千団子祭	十一	友引	のぞく	胃	神よし	4.34	2.46	18.42	19.49
19日	日	みづのえ	浅草三社祭、奈良唐招提寺団扇まき、 不成就日	十二	先負	みつ	昂	くゑ日	4.33	3.42	18.42	20.38
20日	月	きのえ	小満二二時〇〇分、酒田まつり、 福井三国祭、十方ぐれ入り	十三	佛滅	たいら	畢	神よし	4.33	4.38	18.42	21.20
21日	火	きのと	真宗本派親鸞聖人誕生会	十四	大安	さだん	觜	十	4.32	5.36	18.44	22.34
22日	水	ひのえ		十五	赤口	とる	参	五む日	4.32	6.35	18.43	23.49
23日	木	ひのと	○望二二時五三分、三隣亡	十六	先勝	やぶる	井	大みやう	4.31	7.37	18.45	24.34
24日	金	つちのえ	神戸湊川神社補公祭(26日迄)	十七	友引	あやぶ	鬼		4.30	8.42	18.46	25.34
25日	土	つちのえ	東京上野五條天神祭、東京湯島天神祭、 鶴岡化けもの祭	十八	先負	なる	柳	きこ	4.29	9.47	18.47	26.34
26日	日	かのを		十九	佛滅	おさん	星	母倉	4.29	10.48	18.48	27.34
27日	月	かのと	小田原道了尊大祭、一粒万倍日、 不成就日	廿	大安	ひらく	張	神よし	4.28	11.51	18.48	28.34
28日	火	みづのえ	福岡筒崎宮さつき大祭、一粒万倍日、 横浜善光寺身代り不動明王祭	廿一	赤口	とづ	翼	大みやう	4.28	12.53	18.49	29.34
29日	水	みづのと	天一天上	廿二	先勝	たつ	軫	●	4.28	13.56	18.50	30.34
30日	木	きのえ	天しや	廿三	友引	のぞく	角	よろづ	4.27	14.58	18.50	31.34
31日	金	きのと	○下弦二時一三分、世界禁煙デー、 金沢加賀百万石まつり(6月2日迄)	廿四	先負	みつ	亢	大みやう	4.27	16.01	18.51	32.34

【婚】昔は、この時期に婚札をすることは少なかった。農家においてはなおのこと、嫁の手は計算済みで初春の婚期し、できれば婚約者の手もあてに足らぬ婚期などの言葉が残っていたのも農繁期の人手ほしさの風習であったのだろう。

【祭】五月一日は労働者のお祭りである「メーデー」。国際的なもので、わが国では大正九年に第一回集会を持ち、昭和十三年に中止、昭和二十一年に復活して今日に至っている。

三日は「憲法記念日」。第二次世界大戦終了後、それまでの帝国憲法に代わって、昭和二十二年五月三日から施行された「日本国憲法」の実施記念の祝いである。

四日は「みどりの日」。平成十七年祝日法の改定により決定した。平成十九年より施行される。

五日は「こどもの日」。国民の祝日としては、児童福祉の日となっている。

第二日曜日は「母の日」で、母への感謝の気持を表わそうという日である。